

4. 植生再生実施状況

4.1. シードバンクの撒き出し状況

シードバンクを含む浚渫土の散布状況は、全11地区のうち養浜工区を有する以下の5地区を対象とし、散布方法や量などをまとめると以下の通りである。

表4-1

シードバンクを含む浚渫土散布状況ヒアリング総括表							
	施工期間	施工位置 (図)	施工方法			砂の由来※ (浚渫場所)	備考
			散布方法	散布厚さ	散布量		
境島	H14.6.1 ～ H14.6.15	別図参照	・浚渫土の搬入はダンプトラックで行い、バックホウ(0.7m ³)にて投入し、ブルドーザにて敷き均し ・導水クリーク、内水クリーク、ワンド内部にも散布を行った。	t=10cm	1500m ³ (木原仮置場より)	西浦の9ヶ所の船溜より	散布厚さは概略である。
根田	H14.7.1 ～ H14.7.27	別図参照	・浚渫土を撒き出し箇所付近に小山に積み、ブルドーザ、バックホー等で敷き均した。	t=10cm	720m ³ (木原仮置場より)	西浦の9ヶ所の船溜より	
石川	H14.6.11 ～ H14.6.30	別図参照	・浚渫土を撒き出し箇所付近に小山に積み、ブルドーザ、バックホー等で敷き均した。ワンド内部も同様に施工した。 ・木原仮置場からの土990m ³ を上流側(関川船溜側)から下流側に向かって施工していき、砂が無くなったら沖洲仮置場からの1750m ³ を撒いた。	t=10cm	①1750m ³ (沖洲仮置場より) ②990m ³ (木原仮置場より)	①西浦の6ヶ所の船溜より ②西浦の9ヶ所の船溜より	
永山	H14.2 ～ H14.3	別図参照	・養浜砂敷き均し完了後、浚渫土をt=10cmにブルドーザ(15t級)及び補助でブルドーザ(3t級)にて敷き均した。 ・ワンド内部にも散布を行った。	t=10cm	630m ³ (沼尾仮置場より)	北浦の4ヶ所の船溜より	散布厚さは概略である。
大船津	第1工区 :H14.3.6 第2工区 :H14.2/20 ～23	別図参照	・浚渫土を撒き出し箇所付近に小山に積み、ブルドーザ、バックホー等で敷き均した。ワンド内部も同様に施工した。 ・厚さの検尺は、施工前と施工後のレベルを測定し、10cmより高くなっていることを確認した。 ・捨砂工内には撒いてないことを確認した。	t=10cm	第1工区:270m ³ 第2工区:190m ³ (沼尾仮置場)	北浦の4ヶ所の船溜より	

出典：「第2回 霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策評価検討会」資料5-1(P14～21)